

2017 年度 入 学 試 験 問 題

政 治 ・ 経 済

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は 18 ページで、4 問です。
3. 試験時間は 70 分です。
4. 受験番号および氏名を、別に配布する 2 種類の解答用紙(マーク解答用紙、記述解答用紙)の所定の欄に正確に記入しなさい。受験番号は算用数字で記入し、マーク解答用紙は受験番号の下マーク欄もマークしなさい。

<記入例>

受験番号	
	1 3 5 2 0 3 4
0	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
1	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
4	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
5	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

5. 解答はすべて 2 種類の解答用紙(マーク解答用紙、記述解答用紙)にマークまたは記入しなさい。マーク解答箇所の記号は【1】、【2】……で、記述解答箇所の記号は〈1〉、〈2〉……で表示しています。
6. マークは黒鉛筆で、1 解答欄に 1 箇所だけ、濃くぬりつぶしなさい。

(良い例)

【1】	☐	☐	☐	☐	☐
-----	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

(悪い例)

【1】	☐	☐	☐	☐	☐
-----	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

7. マークの訂正は、消しゴムできれいに消し、マークしなおしなさい。
8. マーク解答用紙は折り曲げたり、汚したりしてはいけません。

B

〔I〕 次のア～ウの文章を読んで、設問に答えよ。

ア 王が統治権をもち、聖職者や貴族が特権を与えられ、市民に重税が課せられ

ていた時代に、市民の自由や財産権を主張して [a] が起こりました。

1776年の「 [b] 」はくすべての人は平等に造られ、造物主によって、一定

の奪いがたい天賦の権利を付与され、そのなかに生命、自由および幸福の追求

の含まれることを信ずる」と宣言しました。フランス革命に際して起草された

「 [c] 」第1条にも「人は、自由かつ権利において平等なものとして出生

し、かつ生存する」と明記されています。この時代に、国家による侵害を排除

して個人の自由を享受できる権利、いわゆる自由権的基本権がはじめて成文化

されました。したがって、自由権や平等権は18世紀的基本権と呼ばれます。

[a] の思想的根拠となっていたのが啓蒙思想で、イギリスのジョン・ロック、フランスのフランソワ・ボルテールやジャン＝ジャック・ルソーが代

表的な人物です。この時代は現代の人権思想の萌芽期ですが、それゆえ「人間」の範囲も限られていました。女性は家庭を守り子供を育てる存在であって社会的な権利を主張する存在ではないとの固定観念があり、人間(市民)として認められていませんでした。また、乳幼児死亡率も高く、子供の教育についても親や職能団体の利益が優先したので、幼児が「人間の尊厳」をもつと考えられる時代ではありませんでした。

イ 18世紀の [a] 当時に主張されたのは、王政や独裁からの自由、すなわ

ち政府の役割を制限すること(小さな政府)であり自由放任主義でした。「18世

紀的基本権」が「国家からの自由」といわれる所以です。しかし、自由放任が進

むと貧富の差が大きくなり、人間疎外や経済恐慌が避けられないことがわかって

きました。絶対王政の時代に主張された権力からの自由は至上の意味をもつ

ていたわけですが、産業革命を経て資本家から弱者に対して主張された自由は

正義ではありませんでした。資産をもつ人や能力を発揮できる人は自由競争に

よって多くの利益を上げることができますが、自由競争は弱肉強食ということ

でもあるので、生まれつき資産のない人や教育を受けられなかった人は利益を得にくいことになります。貧富の差を、自由を根拠に正当化することはできないということが、だんだんと社会に認められてきた時期ということが出来ます。

ウ ドイツでは第一次世界大戦による市民生活の悪化を背景に社会主義政党が躍進して1919年に が制定されました。 は、国民主権や男女同権、自由権の基本権に加えて、最低生活を保障する生存権^⑤をうたい、社会保険による社会保障を規定する画期的なもので、現在の先進国の憲法の原型となっています。 によって確立された自由権や平等権、所有権を18世紀の基本権と呼ぶのに対して、生存権^⑥や教育を受ける権利^⑦、労働基本権などの社会権を「20世紀的基本権」と呼びます。弱い立場にある個人の権利を国が守るという意味で「国家による自由」とも呼ばれます。現代的な感覚からすると、生存権より自由権が早く成文化されたという順序が逆のようですが、このように歴史をたどると、人の生存が長い間自己責任と考えられていたことに気がつきます。 は民主的なものでしたが、一方で少数政党が乱立して政権の安定がはかれず、第一次世界大戦後の巨額の賠償への不満を吸収して民族意識を高揚したナチスに独裁を許すことになってしまいました。

(岸邦和『「人間の尊厳」を考えるための練習問題』幻冬舎、2015年を出題の都合上、一部改変してある。)

設 問

問1 空欄 にあてはまる語句として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。(解答箇所は【1】)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (1) 国民革命 | (2) 市民革命 | (3) 武力革命 |
| (4) 国民運動 | (5) 市民運動 | (6) 社会運動 |

問2 空欄 , , にあてはまる語句として最も適切なものを、次の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。

(解答箇所はbは【2】、cは【3】、dは【4】)

- | | |
|----------------|---------------|
| (1) マグナ・カルタ | (2) 権利請願 |
| (3) 権利章典 | (4) バージニア権利章典 |
| (5) アメリカ独立宣言 | (6) フランス人権宣言 |
| (7) リンカン奴隷解放宣言 | (8) ワイマール憲法 |
| (9) スターリン憲法 | (10) ナチス憲法 |

問3 下線部①の説明として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。

(解答箇所は【5】)

- (1) 主著は『法の精神』である。
- (2) 主著は『リバイアサン』である。
- (3) 各人が勝手に自らの自然権を主張する状態を、「万人の万人に対する闘争状態」と称した。
- (4) 政府が人民の生命・自由・財産に対する権利を侵害する場合には、人民に、政府に対する抵抗権・革命権があると述べた。

問4 下線部②の説明として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。

(解答箇所は【6】)

- (1) 主著は『統治二論』である。
- (2) 国家の権力を立法・行政・司法の3つに分ける三権分立制を説いた。
- (3) 公共の利益の実現を目指す市民の総意を、一般意思(意志)と呼んだ。
- (4) その思想は、間接民主制に影響を与えた。

問5 下線部③のような国家を、ドイツの社会主義者ラッサールは、何と呼んで批判したか。最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。(解答箇所は【7】)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (1) 夜警国家 | (2) 福祉国家 | (3) 階級国家 |
| (4) 社会国家 | (5) 主権国家 | (6) 近代国家 |

問6 下線部④の説明として適切でないものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。

(解答箇所は【8】)

- (1) 国王の権力は国民から信託されているとする社会契約説が唱えられた。
- (2) ヨーロッパ諸国では、16世紀頃にあらわれた。
- (3) 近代国家の形成や商工業の発展に、一定の役割を果たした。
- (4) 絶対的権力をもつ国王と少数の貴族によって、専制的な政治が行われた。

問7 下線部⑤に関連して、日本国憲法で保障されているこの権利の説明として適切でないものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。(解答箇所は【9】)

- (1) 日本国憲法は、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障している。
- (2) 日本国憲法による生存権の保障は国の責務を宣言したにとどまり、個々の国民に具体的な権利を保障していないとする考え方を、法的権利説という。
- (3) 生存権を具体化した法律として、生活保護法や児童福祉法がある。
- (4) 生存権をめぐり争われた訴訟として、朝日訴訟や堀木訴訟がある。

問 8 下線部⑥に関連して、日本国憲法で保障されているこの権利の説明として適切でないものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。(解答箇所は【10】)

- (1) 日本国憲法は、義務教育を無償とすると定めている。
- (2) 日本国憲法は、ひとしく教育を受ける権利を保障し、教育の機会均等をうたっている。
- (3) 最高裁判所は、国による、大学生を対象とした返還不要の給付型奨学金制度がない現状を、違憲状態であると判断している。
- (4) 日本国憲法の理念を教育の場で生かすために、教育基本法が制定されている。

問 9 下線部⑦に関連して、日本国憲法で保障されているこの権利の説明として適切でないものを、次の選択肢の中から1つ選び、マーク解答用紙の指定された欄にその番号をマークせよ。(解答箇所は【11】)

- (1) 日本国憲法は、団結権、団体交渉権、団体行動権(争議権)の労働三権を保障している。
- (2) 公務員については、法律で団体行動権(争議権)が否定されている。
- (3) 最高裁判所は、1973年の全農林警職法事件で、公務員の争議行為の一律禁止を合憲と判断した。
- (4) 労働三法とは、労働基準法、労働組合法及び労働契約法をいう。

